

近所に声かけ、高齢者も社会活動

| | |
|-----|---|
| 著者 | 井上 智代 |
| 雑誌名 | 新潟日報 上越かわらばん |
| 巻 | 64 |
| ページ | 2-2 |
| 発行年 | 2011-09-04 |
| URL | http://hdl.handle.net/10631/930 |

この夏の酷暑もようやく落ち着き、活動しやすいく季節となってきました。いかががお過ごしでしょうか。4月から県立看護大学に勤めております

県立看護大学 地域生活看護学領域 地域看護学 井上 智代

2011年
版内閣府「高齢者の社会活動参加者

近所に声かけ、高齢者も社会活動

が、これまで地域で生活される高齢者の暮らしと健康について追究してきました。今回は「高齢者の健康と社会活動」についてお話をさせていただきます。

国となった現在では、生活習慣病などの持病があっても、薬をきちんと内服したり定期的に受診したりすること、病による苦痛や不安を軽減でき

るようになり、多くの方々が身体的・精神的・社会的にも活動的で充実した生活を送っていらっしやいます。

つまり、人生をいかに充実したものにするのかという「生活の質」の重点が置かれる時代となつたといえましょう。

高齢者がいきいきと生活していくために重要なこととして、人々との親密なつきあいや社会との交流ができるという「社会的役割」という能力を増やしていきつらう

わが国の健康状況の変遷をたどってみると、1947年の平均寿命は男

性50・06歳、女性53・96歳と若くして多くの人が命を落とさざるを得なかつた時代であり、寿命を延ばすことが重要視され

た。ところが、人生をいかに充実したものにするのかという「生活の質」の重点が置かれる時代となつたといえましょう。

高齢者の社会活動参加者は年々増加傾向であり、これまで培った多くの経験や知識、技能を生かす。まずはご近所さんに声をかけてみませんか。

このような活動は、実は地域全体を元気にすることにもつながっています。まずはご近所さんに声をかけてみませんか。